

令和2年度 事業執行報告

概況

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、年度当初から食品衛生責任者講習会や各種会議の中止を余儀なくされ、食品衛生指導員の巡回指導や消費者への普及啓発など食協事業の計画的な実施が困難となった1年でした。

このような中、北海道食品衛生協会及び地方食品衛生協会では、情報交換を密に行うとともに、マスクの着用や手洗いの徹底、3密を避けるなどの感染拡大防止対策に努めながら、そして、実施方法を工夫しながら、可能な限り各種事業に取り組み、一定の成果を得ることができました。このような取組みは今後の食協活動の糧となるものと期待されます。

来年6月には、平成30年の食品衛生法改正に基づく新たな営業許可・届出制度やHACCP制度が施行されます。引き続きコロナ禍においての事業展開となりますが、消費者に安全安心な食品を提供するという食品関係事業者の責務が十分に果たされるよう、食品衛生協会としても事業者を支援すべく、行政との連携・協力の下に各種事業に取り組みます。

令和2年度の各事業の実施状況について、次のとおりご報告します。

第1 組織等に関する事項

1 地方食品衛生協会との連携

(1) ブロック会議の開催

※ 新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」と記載）の影響により中止となりました。

(2) 全道事務担当者会議の開催

※ 令和2年6月4日に開催される予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

(3) 食協あり方検討委員会の開催

※ 令和2年12月9日に開催される予定でしたが、新型コロナの影響により書面開催となりました。

(4) 各ブロック事務担当者研修会への参加

※ 新型コロナの影響により中止となりました。

(5) 保健所と食品衛生協会の連携体制の維持・増進

道庁で開催される保健所担当課長の会議や関係職員の研修（TV会議、WEB会議）において食品衛生協会の意義、役割、活動内容等を説明し、食品衛生協会に対する関係職員の理解の醸成に努めました。（専務理事対応）

2 公益社団法人日本食品衛生協会との連携

(1) 会議等への参加

① 令和2年度定時総会

ア 開催日：令和2年6月19日（金）

イ 場所：食品衛生センター（東京都）

ウ 出席者：会長、専務理事

エ 内容：令和元年度決算報告、令和2年度事業計画

※ 新型コロナの影響により委任状の提出による出席となりました。

② 全国支部長会議

※ 令和2年10月及び令和3年3月に東京都で開催される予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

③ 組織改革委員会及び福利厚生委員会

※ 令和3年2月に東京都で開催される予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

(2) 北海道・東北ブロック連絡協議会、大会への参加

① ブロック連絡協議会及び三部会長会議

※ 令和2年6月10日に山形県で開催される予定でしたが、新型コロナの影響により、協議会は10月に延期され書面開催、三部会長会議は中止となりました。

② ブロック大会

※ 令和2年6月13日に山形県で開催される予定でしたが、新型コロナの影響により書面開催となりました。

(3) 食品衛生全国大会への参加

※ 第60回食品衛生指導員全国大会及び表彰式典が令和2年10月21日、22日に東京都で開催される予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

(4) 食品衛生指導員全国研修会への参加

※ 令和2年9月に開催される予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

(5) 日食協「会員増強モデル支部事業」の実施

「あんしんフード君」等を活用した食品衛生協会への加入促進について、地方食協の窓口はもちろん、食品衛生責任者養成講習会や実務講習会等において食協紹介リーフレットや「あんしんフード君」リーフレットを配布するなどして、食品衛生協会への加入の働きかけを行いました。

※ なお、組織改革会議を道食協理事会に併せて開催する予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

3 道食協における会議等の開催

(1) 総会・理事会等

① 令和2年度第1回理事会

ア 開催日：令和2年4月14日（火）

イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 出席理事及び監事：16名（会長、専務理事並びに14名の理事・監事が出席）

エ 決議事項：令和元年度事業報告及び決算報告

② 令和2年度第2回理事会

令和2年5月に書面開催し、新型コロナの影響により開催延期となった定時総会の新たな開催日時、開催場所等を決議しました。

③ 令和2年度定時総会

ア 開催日：令和2年6月19日（金）

イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 出席正会員：43名（本人出席9名、委任状出席34名）（会長、専務理事出席）

エ 決議事項：ア) 令和元年度事業報告及び決算報告

イ) 令和2年度会費額、顕彰事業負担金等

なお、新型コロナの感染拡大防止の観点から、委任状の提出により人数を最小限にして開催しました。

④ 令和2年度第3回理事会（同日午前に三役会開催）

ア 開催日：令和3年2月25日（木）

イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 出席理事及び監事：16名（会長、専務理事並びに14名の理事・監事が出席）

エ 決議事項：令和3年度事業計画、会費納入額、収支予算案等

⑤ 表彰審査会

「5 その他事業」の「1 顕彰事業」を参照

(2) ブロック会議

「第1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

(3) 北海道食品衛生大会

「第2 食品衛生の普及啓発事業」の「1 令和2年度（第58回）北海道食品衛生大会の開催」を参照

(4) 専門部会・委員会

① 食品衛生指導員部会

「第3 食品衛生の向上に必要な人材の育成事業」の「2 食品衛生指導員の養成及び研修」を参照

② 共済部会

「第4 福利事業の推進」の「1 共済部会の開催」を参照

③ 食協あり方検討委員会

「第1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

(5) 全道事務担当者会議

「第1組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

第2 食品衛生の普及啓発事業

1 令和2年度（第58回）北海道食品衛生大会の開催

食品衛生の重要性を周知し、食品衛生思想の普及啓発と食品事業者の自主的な衛生管理体制の充実を図るため、次のとおり開催しました。

なお、実施に当たっては、広い会場を確保するなど、新型コロナの感染防止対策に十分に努めました。

① 開催日：令和2年9月10日（木）

② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

③ 参加者：90名（43 地方食協の役員、事務担当者、発表者、受賞者等）

④ 内 容

ア 全道食品衛生指導員研究発表会

ブロック別発表食協は、次のとおり。

| | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
| 空 知 | 中央西 | 中央南 | 道 北 | オホーツク | 十 勝 | 道 南 | 釧 根 |
| 砂 川 | 倶知安 | 静 内 | 富良野 | 遠 軽 | 帯 広 | 森 | 標 茶 |

最優秀賞 「巡回指導の後の飲み会が大好きです。」吉川 知宏氏（遠軽食協）

イ 表彰式典

ア) 北海道知事表彰

食品衛生功労者 15名

食品衛生優良店舗 17店舗

イ) 道食協会長表彰及び感謝状

食品衛生功労者 40名

食品衛生優良施設 68施設

食品衛生指導事業功労者 42名

永年勤続職員 7名

2 食品衛生知識の普及啓発の実施

食品衛生知識の普及啓発を図るため、食中毒等食品事故の防止を内容とした食品事業者や消費者向けパンフレット等を購入あるいは日食協から提供を受けるなどして、食品衛生月間や食品衛生指導員の巡回指導等を活用して配布しました。

また、日食協との共催で実施した「ノロウイルス食中毒予防強化期間」（令和2年11月～令和3年1月の3カ月間）において、次のとおり食品事業者や消費者を対象とした講習会を開催したほか、リーフレットを配布するなど、啓発活動を実施しました。

| 開催日 | 地方食協 | 開催場所 | 講習会名 | 参加人員 |
|------------|------|------|------------------|------|
| R2. 11. 09 | 小 樽 | 小樽市 | ノロウイルス食中毒予防講習会 | 50 |
| R2. 11. 27 | 函 館 | 函館市 | 手洗いマイスター講習会 | 166 |
| R2. 11. 30 | 函 館 | 函館市 | 手洗いマイスター講習会 | 88 |
| R2. 12. 11 | 函 館 | 函館市 | 手洗いマイスター講習会 | 51 |
| R3. 1. 21 | 函 館 | 函館市 | 手洗いマイスター講習会 | 51 |
| R3. 1. 20 | 釧 路 | 釧路市 | ノロウイルス予防対策手洗い講習会 | 26 |

3 「食品衛生月間」の実施

食中毒が多発する8月を食品衛生月間に設定し、行政と連携する中で、「食中毒ゼロ」へ挑戦するため、次の事業を積極的に展開しました。

なお、実施に当たっては、啓発資料の配布のみとするなど、新型コロナの感染防止対策に十分に努めました。

① 食品衛生指導員による巡回指導等（43 地方食協）

② 広報車やパレードによるリーフレットの配布など街頭啓発活動

14 地方食協で実施し 283 名が参加

③ 消費者教室や食中毒予防教室など普及啓発事業

11 会場で実施し 527 名が参加

④ 食中毒警報事業（43 地方食協）

食中毒警報発令時に、連絡網や旗・のぼり、垂れ幕等を利用して周知徹底を図り食中毒予防を呼びかけました。

4 苦情防止対策講習会の開催

食品衛生責任者等を対象に苦情の発生防止や適切な苦情処理についての講習会を次のとおり開催しました。

① 開催地方食協 15 食協（岩内、深川、芦別、名寄、士別、本別、紋別、遠軽、渡島、森、木古内、江差、浦河、根室、池田）

② 参加人員 1,142 名

5 月刊誌「食と健康」の購読促進

地方食協役員や会員に対する購読の促進を図っています。

第3 食品衛生の向上に必要な人材の育成事業

1 食品衛生責任者養成講習会・実務講習会の開催

各営業施設での衛生管理の中心的役割を担う食品衛生責任者の養成と資質の向上を図り、

自主管理体制を強化するため、各地方食協に事務を委託し、全道各地で講習会を開催しています。なお、新型コロナの影響により 4月～6月の講習会を中止し、7月から感染防止対策に十分に努めながら再開しました。

(1) 養成講習会

- ① 開催回数：83回（年間開催予定 76回）
- ② 受講者数：3,200名（年間受講予定者数 4,300名 達成率 74.4%）

(2) 実務講習会

- ① 開催回数：94回（年間開催予定 85回）
- ② 受講者数：3,048名（年間受講予定者数 3,600名 達成率 84.7%）

※ HACCP 制度化の動きに対応するため、「食品衛生に関する最新の知見等」において保健所担当者から、HACCP による衛生管理の普及啓発を行っています。

(3) 食品衛生責任者の講師研修会の開催

- ① 開催日：令和3年3月5日（金）
- ② 場 所：京王プラザホテル札幌
- ③ 出席者：33名 講師 29名、道食協から専務理事、宮崎書記
北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の担当係長・専門員
- ④ 内 容：
 - ・食品衛生法改正の概要について
 - ・最近の食中毒発生状況等について
 - ・令和3年度衛責講習会の実施に当たって

2 食品衛生指導員の養成及び研修

食品衛生指導員制度・運営規程に基づき、食品衛生指導員を養成するとともに、指導員の資質の向上を図るため、研修会を開催しています。

- (1) 食品衛生指導員の委嘱 63名
食品衛生指導員養成講習会の開催 9ヵ所

(2) 食品衛生指導員部会の開催

- ① 開催日：令和3年3月10日（水）
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：11名 8ブロックの委員、専務理事、三浦書記
北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の担当係長
- ④ 内 容：
 - ・令和2年度食中毒無事故対策事業について
 - ・令和3年度巡回指導の重点目標について
 - ・令和3年度全道指導員研修会の開催について など

(3) 指導員研修会の実施

- ① 全道食品衛生指導員研修会

※ 令和2年6月17日に開催される予定でしたが、新型コロナの影響により中止

となりました。

② 地方食協食品衛生指導員研修会

食品衛生指導員による巡回指導の前や「食品衛生月間」に併せて実施しました。

32回 1,789名参加

(4) 全道食品衛生指導員研究発表会

「第2食品衛生の普及啓発事業」の「1令和2年度(第58回)北海道食品衛生大会の開催」を参照

3 食品衛生指導員による巡回指導

夏の食中毒多発期及び食品が多く出回る年末を中心に、重点指導項目を「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施」として巡回指導を行い、HACCP制度化について周知するとともに、衛生管理について指導しました。

なお、実施に当たっては、啓発資料の送付に代えるなど、新型コロナの感染防止対策に十分に努めました。

(1) 道費補助関係 指導件数 40,601件、参加指導員数 5,360名

(2) 日食補助関係 指導件数 45,706件、参加指導員数 12,288名

4 ブロック会議等の開催

※ 新型コロナの影響により中止となりました

第4 福利事業の推進

1 共済部会の開催

※ 令和2年6月23日に開催する予定でしたが、新型コロナの影響により中止となりました。

2 食品営業賠償共済事業

食品事業者の経営安定及び消費者の利益擁護を図るため、日食協と三井住友海上火災保険(株)との保険契約による食品営業賠償共済並びに「あんしんフード君」への加入を促進しました。

2月末現在の加入総件数は9,389件で、道食協目標18,516件の51%でした。

うち、あんしんフード君は3,110件で、同目標3,098件の100%を達成しています。

3 生命共済事業

食品事業者の事故に対応するため、日食協とジブラルタ生命保険(株)との保険契約による生命共済への加入を図りました。

4 火災共済事業

食品事業者の不慮の災害に対応するため、日本食品衛生協同組合が取り扱う火災共済への加入を図りました。

5 食品衛生指導員見舞金事業

活動中の食品衛生指導員等の事故に対応するため、日食協の見舞金制度を活用することとしています。

第5 その他事業

1 顕彰事業

食品事業者の食品衛生意識の向上を図るため、食品衛生の向上に貢献した者、食品衛生上優良な施設などに対する道食協会長表彰を行いました。（「第2食品衛生の普及啓発事業」を参照）。

また、日食協会長表彰等の表彰候補者を日食協に推薦し、表彰を受けました（「第1組織等に関する事項」の「2公益社団法人日本食品衛生協会との連携」を参照）。

被表彰者、表彰候補者の選考については、表彰審査会を次のとおり開催し、道食協表彰基準に基づき厳正に審査を行いました。

- ① 開催日：令和2年7月9日（木）
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：9名（会長、副会長、専務理事、常務理事ほか）
- ④ 決議事項：令和2年度日食協会長表彰等の表彰候補者の選考
令和2年度道食協会長表彰の被表彰者の選考
全道食品衛生指導員体験発表会の発表順番について

2 北海道HACCP自主衛生管理認証制度事業

北海道独自の「北海道HACCP自主衛生管理認証制度」における「認証審査会」の事務局として認定審査会を開催しました。（専務理事対応）

- ① 審査委員 5名
- ② 開催回数 6回（5月29日・7月30日・10月22日・12月16日・3月19日）
- ③ 認証数 107件（新規48件、更新60件、変更1件）

3 資材の斡旋・紹介

食品衛生上必要な機材、器具などの物品を斡旋・紹介し、会員の利便を図りました。

4 地方食品衛生協会会員確保対策事業

地方食協への非加入、離脱は、組織の根幹に係わる問題であることから、地方食協の窓口や食品衛生責任者養成講習会、実務講習会の会場等において食品衛生協会を紹介するパンフレットの配布や、「会員の章」の作成など、地方食協と一体となった対応を行いました。

○ 会員の章の作成

① 作成枚数 350 枚

② 作成地方食協 3 食協（八雲、深川、苫小牧）

5 食中毒無事故対策事業

令和2年において会員施設を原因とする食中毒の発生がなかった40地方食協に対して報奨金を支給しました。